

TAKE NINAGAWA

泉太郎

Taro Izumi

TAKE NINAGAWA

100年待っていて下さい

2020

Mixed media video installation, vacuum cleaning robot,
flower pot, mirror, LED lights, and dust

本来ロボット掃除機の機能は地面に接している状態が前提になっているため、宙空では働くことができません。この作品では地面から持ち上げられた上にAIを狂わせた状態にあるロボット掃除機が、鏡の上に置いたゴミを掃除するかのように様々な部品を動かす様子を観察できます。人間に例えると、運動している夢を見て足がピクピクと動いてしまうような状況にも見えます。タイトルは夏目漱石が夢について書いた短編小説からの一節です。

展示履歴

「スロースターターバイセルフガイダンス」

名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

2019年10月26日 - 11月12日



TAKE NINAGAWA

使用済み扉／立て掛け画板

2019

Mixed media video installation, wooden boards, video monitors, and video projection

展示室中央のスクリーンには複数の白いパネルを並べて表から撮影した映像が投影されています。一見何も起こらず、動きのないパネルが並ぶ風景が映されていますが、実は全てのパネルの裏に人がいる状態で撮影が行われました。会場ではパネルの裏側に回ると撮影時に裏にいた人々をとらえた映像を見ることができます。泉は、彼らに「ただそこにいてほしい」という指示のみを与えて撮影を実施しました。

展示履歴

「スロースターターバイセルフガイダンス」

名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

2019年10月26日 - 11月12日





展示風景 2019 年「スロースターターバイセルフガイダンス」, 名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

TAKE NINAGAWA

祖父への無心 a~

2019

Mixed media installation, performance and posters

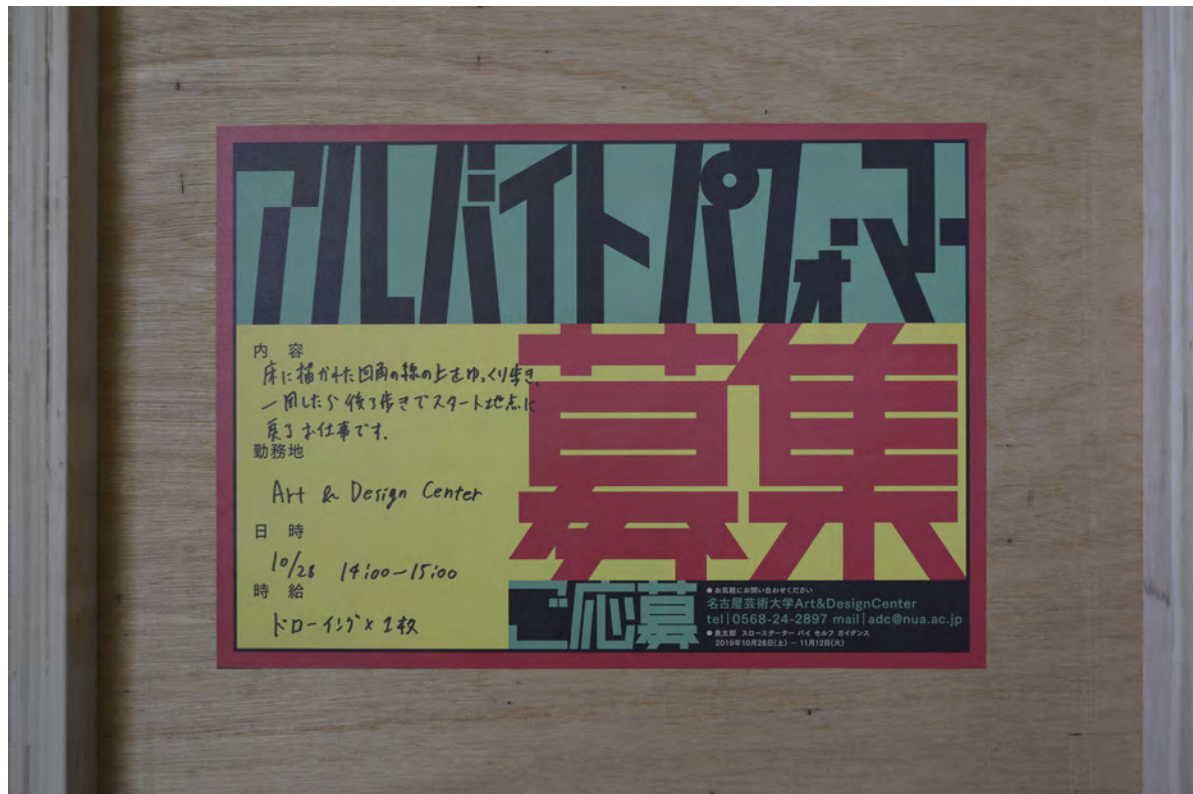
泉は、パフォーマーをアルバイトとして雇い、展覧会会期中に一定時間パフォーマンスを行わせました。これはアルバイトであるため、対価が支払われます。謝礼として一時間のパフォーマンスに対して1枚のドローイングを渡しました。二時間であれば二枚です。展示会場や大学構内にはアルバイトパフォーマー募集のためのポスターが貼られています。ポスターにはアルバイトの内容として、泉が60~70年代のビデオアート作品を簡潔に言語化したものが書いてあります。大学生は元になった作品について知られることはないため、実演されたパフォーマンスにはオリジナルと似たような動きになる場合もあれば、全く違うものになる場合もあります。

展示履歴

「スロースターターバイセルフガイダンス」

名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

2019年10月26日 - 11月12日



TAKE NINAGAWA

網目模様 a

2019

Mixed media video installation, 4 channel video,
monitors, and tripod

名古屋芸術大学にて制作された作品。100 人の大学生がビデオカメラに向かって一斉に指を差しています。ビデオカメラを持つ雲台役の人は三脚役の人に肩車されているため、彼ら 100 人を撮影している映像は微妙に揺れています。

展示履歴

「スロースターターバイセルフガイダンス」

名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

2019 年 10 月 26 日 - 11 月 12 日



TAKE NINAGAWA

1000000

2019

Mixed media installation, 2 channel video, CRT TV monitor, wooden structure, and miscellaneous objects

H型のパネルの裏には、左右にある空間をつなぐように足場が渡されています。撮影の際、パフォーマーが足場を匍匐（ほふく）前進で移動し、左右の空間である作業をしてまた移動するという行為を繰り返しました。ただし、撮影されたのはパフォーマンスをパネルの裏側から目で追っている人々の姿であり、パフォーマンスそのものの様子は展示されたビデオには映されていません。観客は、撮影された彼らの目の動きや物音を通してパフォーマーの存在を感じ取ることしかできないのです。

展示履歴

「スロースターターバイセルフガイダンス」

名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

2019年10月26日 - 11月12日



TAKE NINAGAWA

網目模様 b/ 無し食い虫 a

2019

Mixed media video installation, single channel video, and dust

大勢の人が会場の床の汚れを手のひらに移動させて、さらにそれを会場の壁にすりつけ、壁に汚れを移動させるパフォーマンスを撮影した映像です。

展示履歴

「スロースターターバイセルフガイダンス」

名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

2019 年 10 月 26 日 - 11 月 12 日



TAKE NINAGAWA

籠の萌やし

2019

Mixed media installation, cellular phone charger cables
Students are invited to charge their phones in the display cases

展示室の一角に携帯電話を充電できるスペースがあります。観客は展示ケースの中の充電器に自分の携帯電話を接続することで充電ができます。

展示履歴

「スロースターターバイセルフガイダンス」

名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

2019 年 10 月 26 日 - 11 月 12 日



TAKE NINAGAWA

厩戸の子鹿たち

2019

Mixed media installation, padlocks

Students are invited to park their bicycles as a part of the artwork

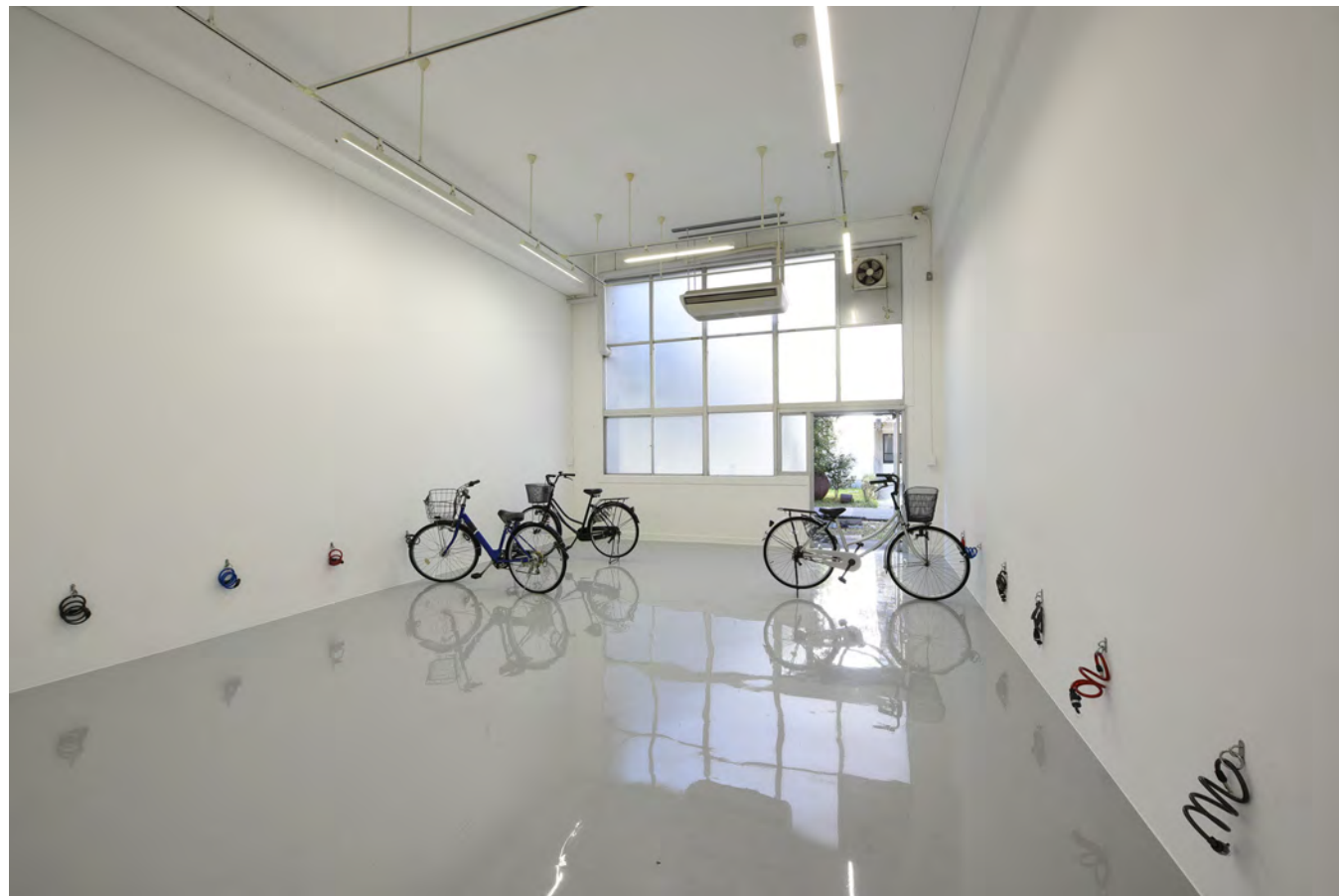
展示室の一つが自転車を自由に駐輪できるよう開放されています。

展示履歴

「スロースターターバイセルフガイダンス」

名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

2019 年 10 月 26 日 - 11 月 12 日



TAKE NINAGAWA

無し食い虫 b

2019

Series of donated paintings by art students

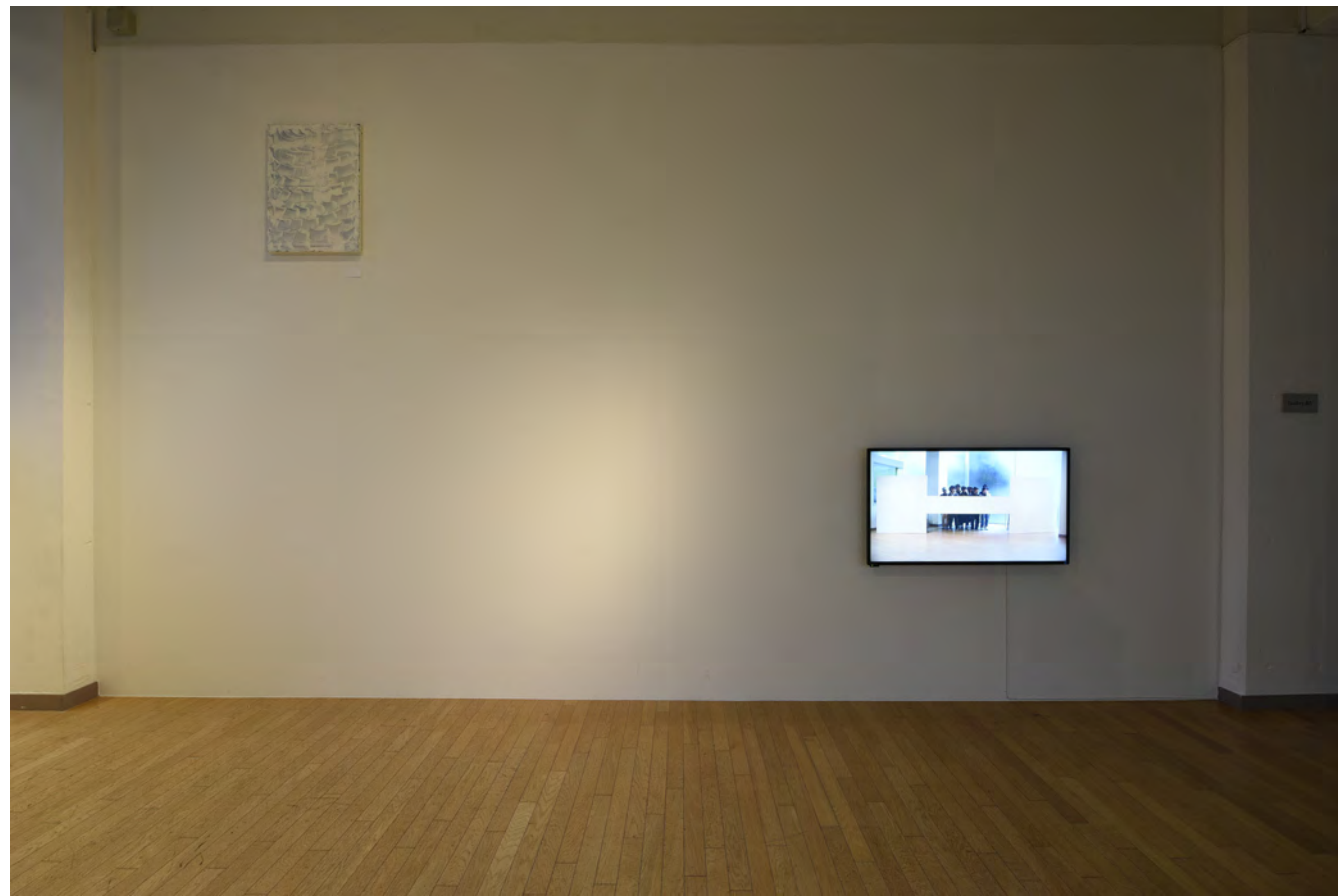
大学生を募集し、自分が失敗したと思っている絵を
白く塗りつぶしてもらいました。彼らの絵は様々な
やり方で白く塗られ、展示会場の壁の白と比較され
るように展示されています。

展示履歴

「スロースターターバイセルフガイダンス」

名古屋芸術大学 Art&DesignCenter

2019 年 10 月 26 日 - 11 月 12 日



TAKE NINAGAWA

色付き帽子 (非ひょうたん)

色付き帽子 (B)

色付き帽子 (防御という泣きごと)

色付き帽子 (家)

色付き帽子 (小鹿)

2018

Mixed media installation, wooden panels painted in acrylic, gypsum statues (Venus of Milo, Bust of Ariadne, Gaddi Torso, Venus of Vienne, Statue of Fudo Myoo), drawing isles, charcoal, pencils, erasers, and seats

Students were invited to a session of sketching

多摩美術大学にて発表された作品。展示空間に立ついくつかのパネルには様々な形の穴が空けられています。パネルの後ろには石膏像が設置してあり、表の穴から像の一部が見えるようになっています。大学生はパネルの表側から石膏デッサンすることになります。石膏像を用いたアカデミックな訓練の目的は具体物を空間的にとらえることです。本作のシステムでは石膏像の一部分しか見えず、さらにカラフルな色面パネルにより実際の空間や距離感を把握できません。それゆえに具体物から抽象的なとらえ方を学べるのではないかと泉は想定しています。

展示履歴

多摩美術大学 八王子キャンパス , アートテーク・ギャラリー

2018 年 10 月 15 日 - 10 月 27 日



TAKE NINAGAWA

吸収する冷氣／急襲する動作

2018

Mixed media video installation, consisting of videos, electrical cord covers, and monitors

壁に取り付けられた棒の前でカメラを持ったパフォーマーが揺れています。パフォーマーが持っているカメラは、棒が振り子のように左右に揺れて残像が見えるような映像を撮影しています。展示会場では、その映像がパフォーマーが棒の前で揺れている映像とともに展示されています。

展示履歴

多摩美術大学 八王子キャンパス , アートテーク・ギャラリー

2018 年 10 月 15 日 - 10 月 27 日



TAKE NINAGAWA

スローディスカッションに反対の賛成

2018

Mixed media installation, consisting of monitors, digital image projections, sculpture turntables, plinths, tables, chairs, carpet, acrylic plate, desk lights, pens, microphones, portable amplifier, video recorders, backpack (containing bento box, water bottle, blanket, Polaroid camera, picnic sheet), compass, photo album, world map, guide books of Thailand, Taiwan, and Scotland, books, stages, and QR codes

展示履歴

多摩美術大学 八王子キャンパス , アートテーク・
ギャラリー

2018 年 10 月 15 日 - 10 月 27 日



TAKE NINAGAWA

Sphinx

2018

Live performance with film

人間の感覚を代替、拡張する道具であるドローンに対して、この作品は、その役割をさらに人間に戻した状態にあると泉は述べます。人間の代わりにしていたドローンの代わりに人間が演じています。このドローンはピエロのような格好をしています。ピエロはサーカスなどのショーで人目を引きつけて場を持たせるエンターテイナーですが、ドローンは逆になるべく人目につかないようにデザインされています。この人間型ドローンは、撮影するための役割と同時に撮影する行為を人に見られるパフォーマーでもあるため、ドローンの機能に反する姿となっているのです。また、人間型ドローンの右肩に取り付けられた木の義手は、本来のドローンのように遠隔操作ではなく、ドローン自身が直接ヒモでコントロールすることで映像を撮影しており、人間が何かをコントロールすることの滑稽さが際立ちます。また、撮影された映像には、原発事故等の災害時に人間の代わりにドローンが撮影する映像のぎこちなさに近いものが見受けられます。

展示履歴

「My eyes are not in the centre」

White Rainbow, London

2018 年 9 月 14 日 - 11 月 3 日





パフォーマンス 《Sphinx》, 2018, White Rainbow, London



パフォーマンス 《Sphinx》, 2018, White Rainbow, London



TAKE NINAGAWA

Spring is between Winter and Summer, sleeping is between Spring and early Summer

2018

Stage set with plants, fruit, drinks, and beach apparel, video projection and video on monitors

コンクリートの舞台に投影されているのは、東京にある空襲によって弾痕が残っている壁の映像です。その舞台の上では数人の人物が、まるでリゾート地にいるかのように長時間寝そべりました。そうすることで彼らの身体にも弾痕の映像が重なります。彼らの一人がかけているサングラスは、前述の戦争遺跡の窓と同じデザインになっています。舞台上には彼らの他に、酒が入ったグラスやフルーツ、植物なども置いてあります。

その戦争遺跡は、東京の西にある木々に囲まれた和やかな公園に位置し、その外観を見れば空襲の際に最大のダメージを受けたことがわかります。空襲の時点で時間が止まったままのようにも見えるその建物は、今も少しずつ人間には視認し難い速さで風化し、変化しています。

泉は、その建物を人間に身体とを入れ替えるための実験として本作を制作しました。人間が過ごす時間と物に流れる時間の速さは異なる中で、彼はそれらを置き換えることでその建築が現在経過している時間についても考察できるのではないかと考えたのです。

現在その建物が時間を経過しているのは穏やかな美しい公園で、木々に囲まれているため、コンクリートの舞台上にはその状況を表すようなものを配しています。その上でパフォーマーはのんきに寝そべっているように見えますが、かなりの長時間その状態を保つうちに、のんきとは言えない状況になっていきます。さらには、その遺跡に記されていた番号をプリントしたコンクリートブロックをバーテンダーが砕いてカクテルを作ります。バーテンダーがコンクリートブロックを砕く音が爆撃のように響き、破壊の印象を与えています。

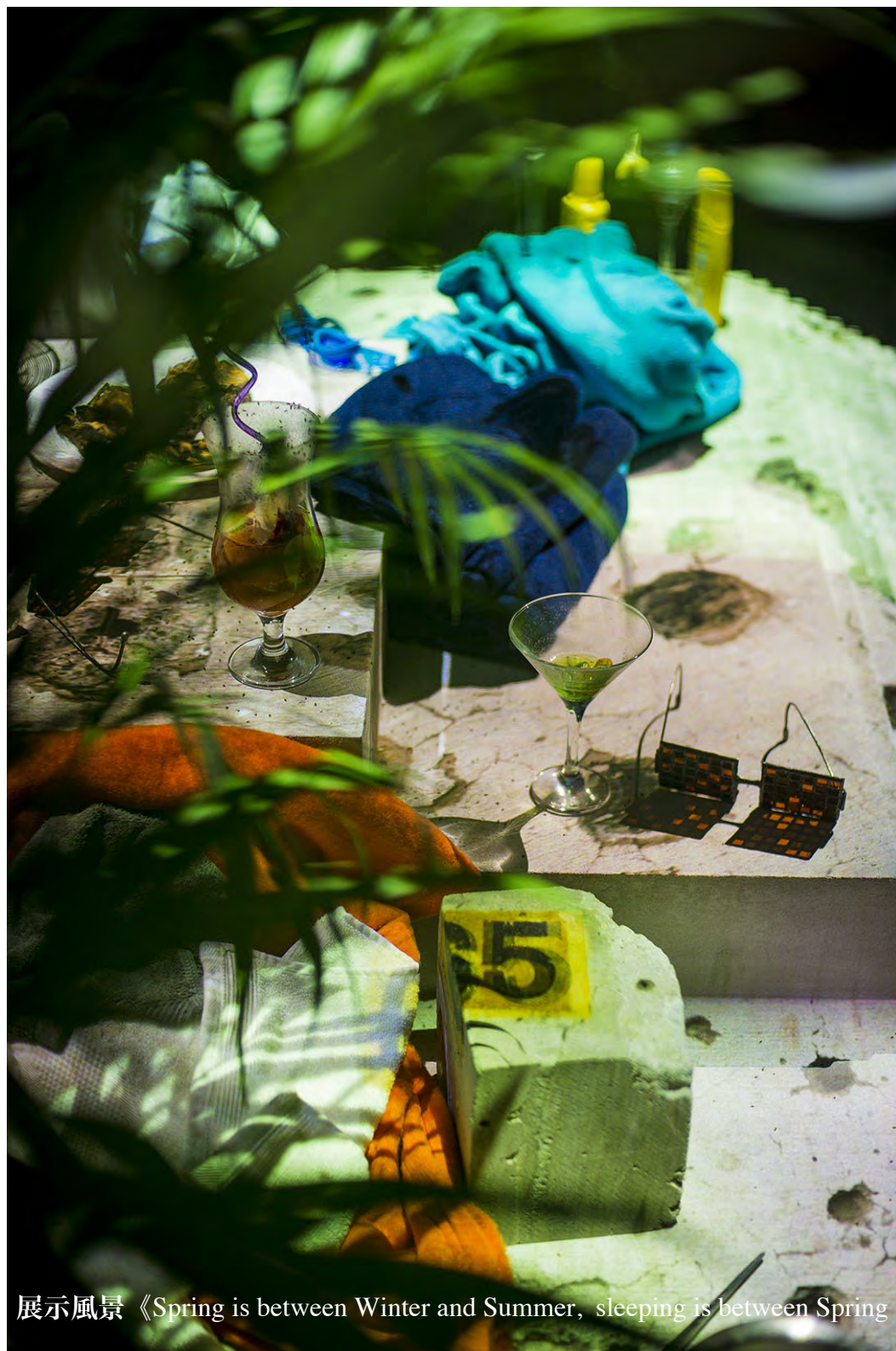
展示履歴

「My eyes are not in the centre」

White Rainbow, London

2018 年 9 月 14 日 - 11 月 3 日





展示風景 《Spring is between Winter and Summer, sleeping is between Spring and early Summer》, 2018, White Rainbow, London



映像スチル《Spring is between Winter and Summer, sleeping is between Spring and early Summer》, 2018



映像スチル《Spring is between Winter and Summer, sleeping is between Spring and early Summer》, 2018



映像スチル《Spring is between Winter and Summer, sleeping is between Spring and early Summer》, 2018

TAKE NINAGAWA

½ **poetry: morning**

2018

2 channel video

赤ちゃんの映像とパンケーキの映像が隣り合っています。赤ちゃんは YouTube の映像で、パソコンのモニターに映っています。

映像になっている赤ちゃんのほっぺたを指でつつきます。パンケーキの方も同様に指でつつきます。「赤ちゃんのほうはパソコンの画面の感触がしましたが、パンケーキのほうは本物のパンケーキの感触がしました」と泉は述べています。

展示履歴

「My eyes are not in the centre」

White Rainbow, London

2018 年 9 月 14 日 - 11 月 3 日



TAKE NINAGAWA

She droned on about a dream of drowning in a puddle 2018

Wooden drone, staircase, and video projection

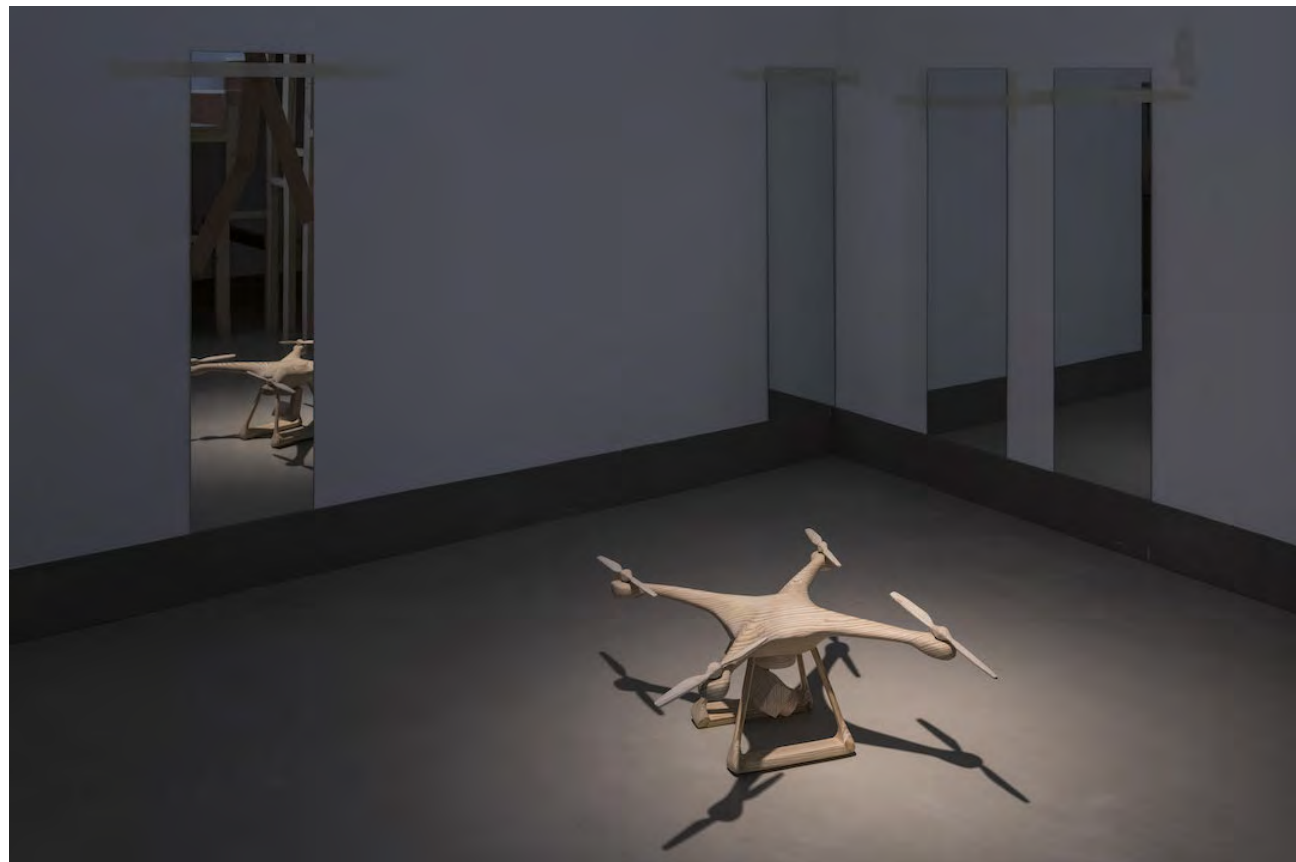
木製のドローンをベルリンのヴァンゼーという巨大な湖に浮かべ撮影しました。ヴァンゼーは内陸にあるベルリンの市民が海の代わりに擬似的なビーチを作っている湖です。ドローンとはそもそも人間の感覚、視覚を代替するものであり、それゆえに人間の身体の一部のようにコントロール可能でなければ意味を成しません。しかし、この木製ドローンは人間のコントロールから解放されてただ湖を漂っています。それは人間のために仕事をしないドローンです。ただ、どこまで流れて行っても湖は海につながることはありません。ドローンのデザインには、流木を少し組み合わせています。人間の機能を代替するものについて考えている過程で生まれた作品です。

展示履歴

「My eyes are not in the centre」

White Rainbow, London

2018 年 9 月 14 日 - 11 月 3 日



TAKE NINAGAWA

30

2017

2 channel videos

《30》は、ひとりの少年の映像と複数の大人と犬たちが映し出された映像を別々の展示空間に設置し、狼の鳴き声を真似て少年と大人たちが呼びかけ合うビデオ・インスタレーションである。狼の遠吠えに全く無反応な複数の犬、そして人間が人間の言語ではなく動物の言語を模して呼びかけ合う状況を作り出すことによって、言語とは何か、他者と理解し合うということはどういうことなのか、という問いかけを作品化している。一見すると、少年と大人たちの遠吠えは、何らかの会話のようにも捉えられるのだが、しかし、そこに人間同士、人間と動物の間で意思疎通がなされているのか否かは誰にも確認できない。また、別々の空間で発せられる遠吠えは、展示空間全体を貫き、人々は見えない作品の気配を感じながら、鳴き声とともに移動して、空間の特徴を認識することになる。SNSを利用して他者とコミュニケーションをとる際に、異なる空間にいる相手と、声を発することのないやり取りが日々繰り返される現代社会において、あらためてコミュニケーションをとることについて着目した作品である。

— 金沢 21 世紀美術館、所蔵作品カタログより

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017 年 2 月 3 日 - 5 月 8 日



TAKE NINAGAWA

くすぐられる夢を見た気がする

2016 - 2017

Sculpture and double video projection

この作品は現在11組が制作されています。座るとスポーツ雑誌の中から選んだ選手の画像と同じポーズをとれる椅子のような彫刻を作り、それにパフォーマーが一定時間乗っている映像を撮影しました。スポーツ雑誌のグラビアも動画で撮影し、二つの映像を並べて投影します。私たちが人間を元に作られた映像や画像を見ることごとにすっかり慣れている中で、この作品は画像化された人間を再度現実の人間の身体に戻すような試みです。しかし、画像化された人間の時間は止まっており、彼らの姿勢は瞬間を捉えた画像だからこそ可能な形をしています。人間の身体で、しかも継続的な時間の中でその形を再現しようとするとう無理があります。画像の世界のルールに人間側が無理矢理合わせているような状態なのです。また、それを支える家具のような彫刻は、もとは人間の身体にフィットして快適にすごせるようデザインされた椅子やベッドを改造して形を変えて作られています。映像と合わせて展示されるそれらは空間や時間、重力を形をあらわす彫刻とも言えますし、映像のための建築とも呼べるでしょう。

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

くすぐられる夢を見た気がする（海賊からバナナを守る）

2016

Assembly of various elements, wood, metal, various objects, fabrics, light bulb accompanied by a double video projection

Sculpture: 166 x 233 x 138 cm

Screen: 272 x 240 cm

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

くすぐられる夢を見た気がする（頬より前に突き出たまぶた）

2017

Assembly of various elements, wood, metal, various objects, fabrics, light bulb accompanied by a double video projection

Sculpture (centre): 160 x 161 x 332 cm

Sculpture (behind screen): 247 x 87 x 45 cm

Sculpture (in the distance): 342 x 100 x 200 cm

Screen: 360 x 240 cm

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

くすぐられる夢を見た気がする（カナダからも見えた）

2017

Assembly of various elements, wood, plastic globe
accompanied by a double video projection

Sculpture: 535 x 160 x 160 cm

Screen: 268 x 310 cm

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

くすぐられる夢を見た気がする（風に削られて痩せたラクダ）

2017

Assembly of various elements, wood, plant, accompanied by a double video projection

Sculpture (front): 93 x 277 x 171 cm

Sculpture (back): 157 x 117 x 104 cm

Screen: 328 x 217 cm

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

くすぐられる夢を見た気がする（息の行方）

2017

Assembly of various elements, metal, various objects,
accompanied by a double video projection

Sculpture (main): 204 x 150 x 90 cm

Sculpture (small): 133 x 110 x 90 cm

Screen: 320 x 197 cm

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017 年 2 月 3 日 - 5 月 8 日



TAKE NINAGAWA

くすぐられる夢を見た気がする（雲が落ちる）

2017

Assembly of various elements, wood, metal, fabrics, CD player, CDs, accompanied by a double video projection

Sculpture: 180 x 256 x 221 cm

Screen: 220 x 347

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017 年 2 月 3 日 - 5 月 8 日



TAKE NINAGAWA

くすぐられる夢を見た気がする（軟体ナイフ）

2017

Assembly of various elements, wood, metal, various objects, light bulb, accompanied by a double video projection

Sculpture: 150 x 260 x 223 cm

Screen: 283 x 211 cm

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017 年 2 月 3 日 - 5 月 8 日



TAKE NINAGAWA



くすぐられる夢を見た気がする（キュウリの筋肉）

2017

Assembly of various elements, wood, various objects,
light bulb, accompanied by a double video projection

Sculpture: 170 x 145 x 83 cm

Screen: 156 x 257 cm

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017 年 2 月 3 日 - 5 月 8 日

TAKE NINAGAWA

くすぐられる夢を見た気がする（夜が割れた）

2017

Assembly of various elements, wood, metal, various objects, fabrics, TV accompanied by a double video projection

Sculpture (main): 132 x 155 x 145 cm

Sculpture (tv): 65 x 49.5 x 49.5 cm

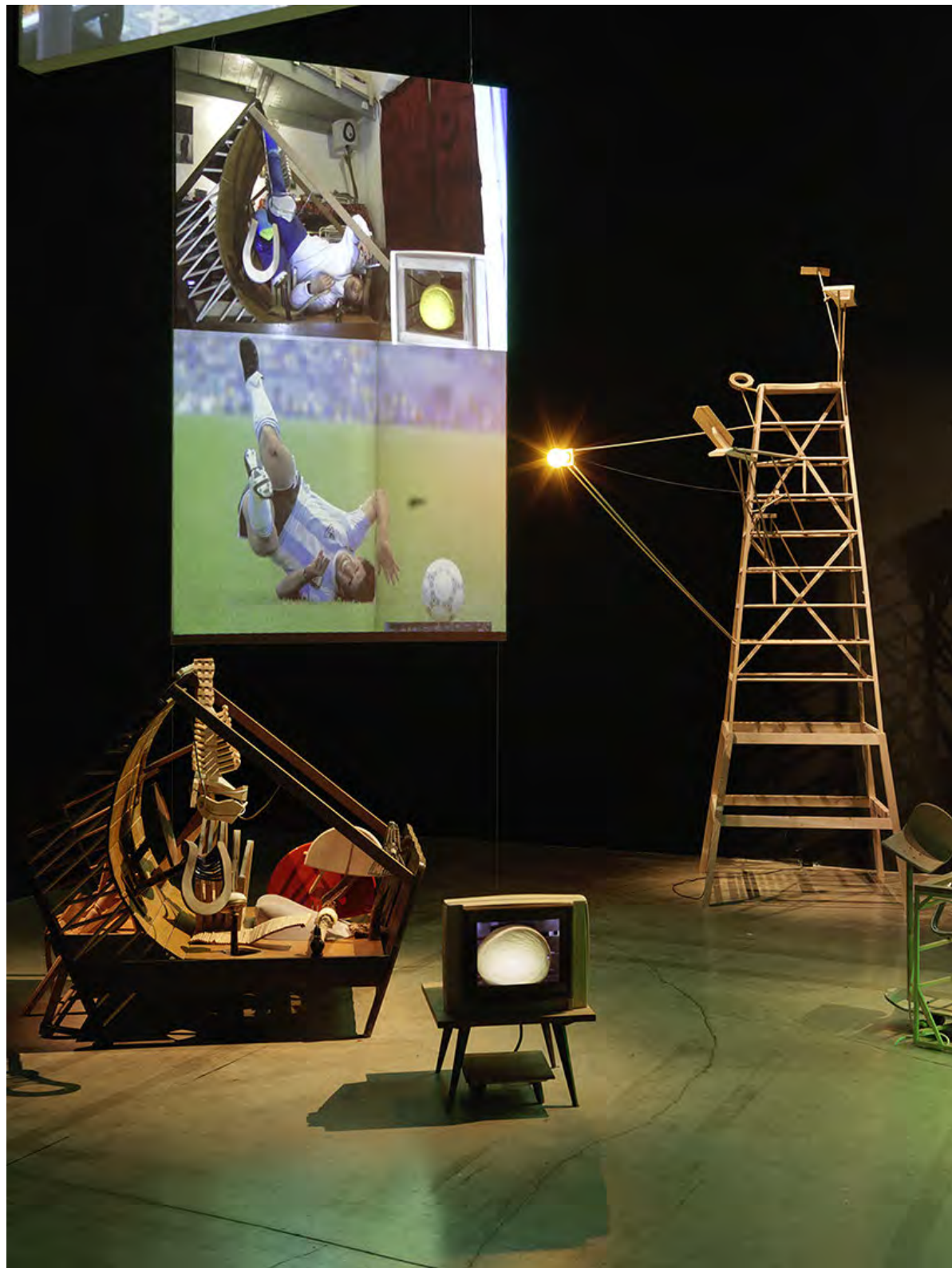
Screen: 300 x 180 cm

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

ミミズは蟬の鳴き声と笑い声を聞きわける

2017

Mixed media video installation, video, shoes, and carpet

パレ・ド・トーキョーの展示室の床を1メートル20センチほど底上げしてあります。その床には200個の穴が空いています。パフォーマーそこに足をさして、底に穴を開けた靴を膝のあたりで固定します。そうすると彼らの足はかなり短く見える状態になります。木の根のように、本当の足の半分は床の中に入っている事実は一見わかりません。

約200人のパフォーマーにその状態になってもらい、さらに彼らを帽子などで前が見えないよう目隠しをします。彼ら以外に短足になっていないパフォーマーが数人だけいます。彼らは地面に空いた穴に向かってメロンや魚など、いろいろなものを落とします。すると地面の下からは皿が割れたような破壊音が聞こえます。まるでメロンや魚が陶器やガラスでできてるかのようです。短足になっている200人のパフォーマーは、音だけを頼りに、その音が聞こえる方向に向かって回転します(彼らの本当の足は地面の下にあり、その位置に固定されているため、同じ場所で回転することしかできません)。それを何度も繰り返し、撮影します。

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

見えない星からの突き刺さるウィンク

2017

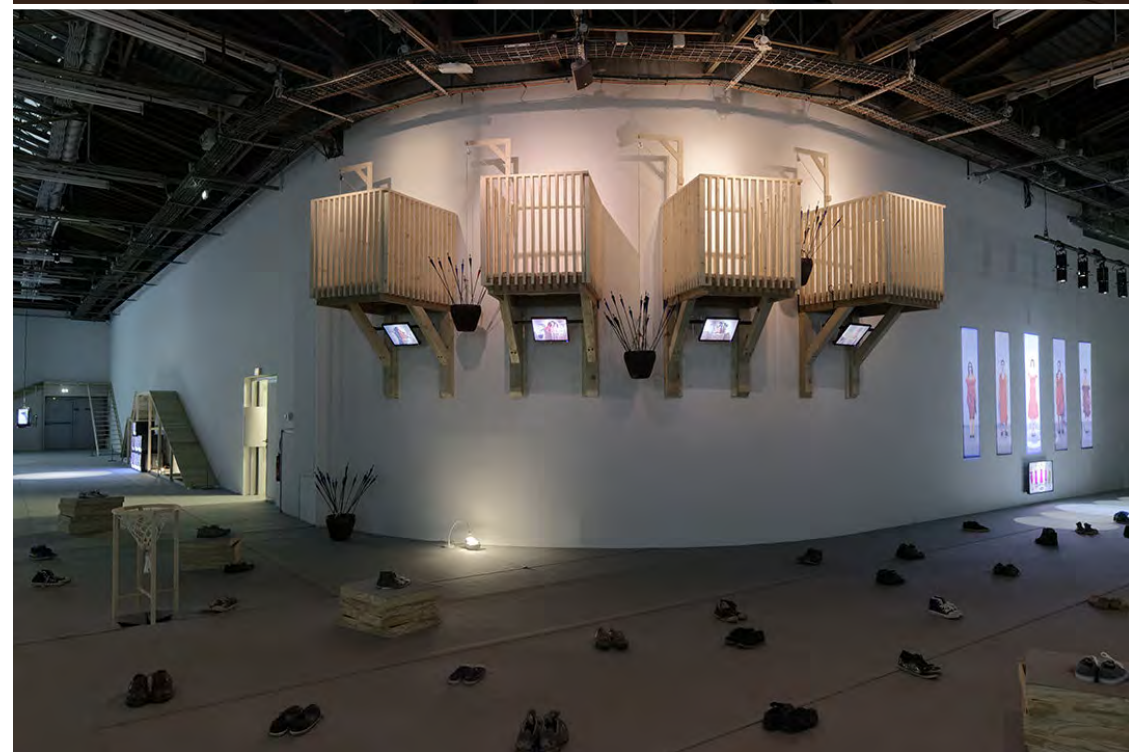
Mixed media video installation, video and arrows

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017 年 2 月 3 日 - 5 月 8 日



TAKE NINAGAWA

ビューティフルアシスタント

2017

Mixed media video installation

ビューティフルアシスタントを巡るいくつかのパフォーマンスを行い、撮影した作品です。泉は、展覧会を実現するまでの時間、確実に存在して活躍しているにもかかわらず、表面化してこないアーティストのアシスタントという存在を前面に押し出してカリスマ化することを試みました。映像に登場するビューティフルアシスタントはアシスタントに求められるような作業が得意ではありません。皆が作業している前でポーズを取っているだけだったり、ビューティフルアシスタントの衣装と同じになるようにその他のアシスタントの衣装を無理矢理改造したり、いくつかの出来事を撮影しました。アシスタントを前面化する作品のほずが、ビューティフルアシスタント以外のアシスタントをさらに後ろに追いやるような皮肉な状況になっていきます。

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

ビューティフルアシスタント (a)

2017

Installation, video, botanicals, furniture, and wooden sculpture

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017 年 2 月 3 日 - 5 月 8 日



TAKE NINAGAWA

ビューティフルアシスタント (b)

2017

Video and 7 monitors

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017 年 2 月 3 日 - 5 月 8 日



TAKE NINAGAWA

ビューティフルアシスタント (c)
2017

Video and wooden sculpture

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

ビューティフルアシスタント (d)
2017

Videos and photographs

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017 年 2 月 3 日 - 5 月 8 日



TAKE NINAGAWA

溶けた魚は水になる

2017

2 channel video

展覧会の入口から出口まで、展示室の全ての壁に波のような曲線を描きながら続く一本の線が書かれています。よく見ないとわからないような鉛筆の線です。非常口がある場所や他の作品がある場所には簡易的な階段を作り、それらの障害物を避けるように線が続いています。パフォーマーは、その線に丁寧に腕を這わせながら、入口から出口までの長い道のりを移動します。波打つように描かれている線をなぞるため、腕の動きも波のようになめらかに上下します。

展示履歴

「Pan」

Palais de Tokyo, Paris

2017年2月3日 - 5月8日



TAKE NINAGAWA

Taking a river nerve

2017

Wooden structure with metal wheels, leaves made of gouache paper, various objects, CRT TV on wooden structure, and video

Wooden structure : 199 x 286 x 56.5 cm

Pedestal with TV : 70 x 40 x 40 cm

紙で落ち葉を作り、さらにそれを街に落として路地に落ち葉を増やすための屋台を作りました。紙の落ち葉は、パリの路地に落ちている実物を研究しながら制作のための設計図が作られており、それを屋台のスタッフに共有して増産していきます。屋台で街に繰り出して、落ち葉を増やします。

展示履歴

「Night Lie」

Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois,
Paris

2017 年 4 月 28 日 - 6 月 1 日



TAKE NINAGAWA

Night lie

2017

Metal bed, cobblestones and subway grille, fan, and 4 TV with videos

パリの石畳が再現されたベッドを街中に運び出し、その上にモデルが寝転んでいる様子撮影しました。モデルの全身には星空がペイントされています。映像の空の部分にはモデルの体の一部が撮影後にはめ込まれ、モデルの息遣いに伴い夜空が揺れているように見えます。パリの路面で見かける通気口からは暖かい空気が吹き出しています。冬にはその上に路上生活を営む人達が寝転んでいることもあります。路面を模したベッドにはその排気口も再現されています。

路上生活を営む人はまるで街の風景に溶け込んでいて、彼らが見えていないかのように通り過ぎていく人々も多くいます。視線には必ず入っているはずなのに、まるで意識から排除されたかのようなのですが、それでも存在そのものが消えているわけではありません。物の存在の背後には必ず背景があるように。

展示履歴

「Night Lie」

Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois,
Paris

2017年4月28日 - 6月1日



TAKE NINAGAWA

Storing the night / The day vanished 3

2017

Diptych, collage of 2 colored photographs

44.1 x 29.5 cm, each

水が入ったグラスを窓辺に置いて、昼間と夜間にそれぞれ写真を撮影しました。その後、写真を切り抜いて昼間に撮影したグラスの写真の水の部分と、夜に撮影した写真の水の部分を入れ換えます。グラスの中身の水の部分だけ昼夜逆転している状態になります。

展示履歴

「Night Lie」

Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois,
Paris

2017 年 4 月 28 日 - 6 月 1 日



TAKE NINAGAWA

Great Nostril

2017

Paris bin, fake firebugs made of painted pumpkin seeds,
and 2 videos

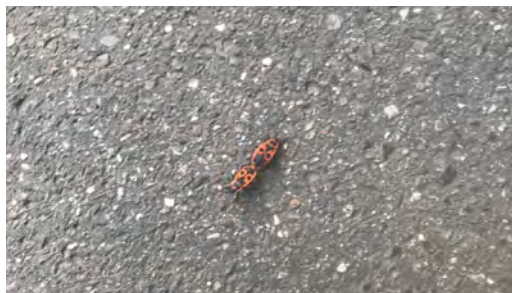
パリの道端で二匹の虫が交尾して繋がったままの踊るように行ったり来たり歩いていました。この虫はフランスで警察をあらわす俗語で呼ばれています。泉は植物の種をペイントしてこの虫に似せたものを大量に作り、それらをパリの街中にあるゴミ箱を改造した即席の太鼓の上に乗せて叩きました。種の虫は太鼓が叩かれるたびに激しく跳ねて飛び散っていきます。展示会場ではその様子をとらえた映像と、先述の交尾をしながらウロウロする二匹の虫を撮影した映像が流されており、ゴミ箱の太鼓も展示されています。

展示履歴

「Night Lie」

Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois,
Paris

2017年4月28日 - 6月1日



TAKE NINAGAWA

溶けたソルベの足跡

2017

Mixed media, videos, map of Berlin

《溶けたソルベの足跡》は、巨大なベルリンの地図を取り囲むように多数の画面が配置され、市内のいろいろな場所でさまざまな人物が空を見上げる様子が映し出されます。20世紀後半の冷戦の時代、ベルリンは東西に分断されていましたが、地上は分厚い壁に阻まれて往来が規制されていても、市民が見上げる空は常に同じものでした。画面の中の人々はベルリンの空に何を見ているのでしょうか。

—『Mercedes-Benz Art Scope 2015-2017: Wandering to Wonder』（原美術館、2017年）展示解説より

展示履歴

「メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2015-2017 – 漂泊する想像力」

原美術館

2017年5月27日 - 8月27日



TAKE NINAGAWA

浮き尻 (遅刻の夢を見る 12 人以上の徘徊マニア)

2017

Mixed media installation consisting of airplane-like sculpture, window-like screens, seats, desks, monitors, reading lamps, clothings, blankets, eye mask, trays, used paper cups, aluminium plates and lids, plastic cups, plastic spoons, forks, rubbish, and videos

《浮き尻 (遅刻の夢を見る 12 人以上の徘徊マニア)》は、「空の旅」体験に想を得て国内で撮影したものです。旅客機の客席のようできてそうでもない、モニターつきの座席が並んだ装置が組まれています。大画面に投影されたビデオの出演者たちは、この装置で日本・ヨーロッパ便と同じ長時間を過ごし、機内食のようなものを食べ、画面に出る字幕 (映画の台詞ではない) の指示に従って行動 (演技) しますが、時間とともに疲労がたまり、演技なのかそうでないのかも定かでなくなります。空を高速で移動しているのに自分自身は席に座ったままというのは、考えてみればおかしいことかもしれません。飛行機による海外旅行が普及した現在、あらためて「旅」という行為を考えてみたくなる作品です。

—『Mercedes-Benz Art Scope 2015-2017: Wandering to Wonder』

(原美術館、2017 年) 展示解説より

展示履歴

「メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2015-2017 – 漂泊する想像力」

原美術館

2017 年 5 月 27 日 - 8 月 27 日





展示風景《浮き尻（遅刻の夢を見る 12 人以上の徘徊マニア）》, 2017, 原美術館



透明に染まる桑畑の汁

2017

Mixed media video installation, suitcase, clothes, and
single channel video

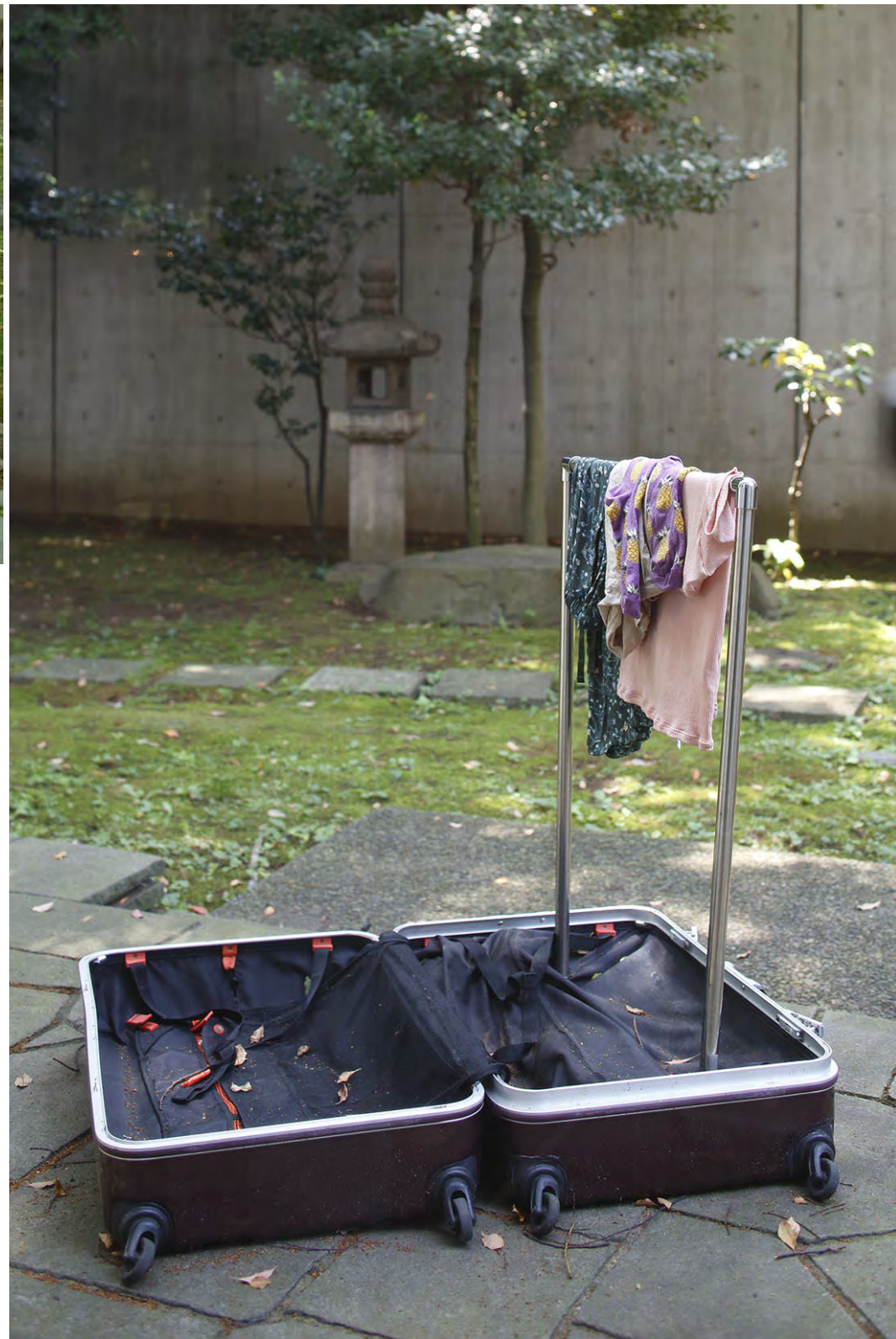
Dimensions variable

展示履歴

「メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2015-2017 –
漂泊する想像力」

原美術館

2017 年 5 月 27 日 - 8 月 27 日



TAKE NINAGAWA



太ったカエルをおびきよせるための痩せたミミズ

2017

Single channel video

展示履歴

「メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2015-2017 –
漂泊する想像力」

原美術館

2017年5月27日 - 8月27日



TAKE NINAGAWA

B: 「レンズは虎が通るのをはっきりと捉えていたのだ」

2017

Mixed media, video projection, popcorn stand, and posters

作家がさまざまな美術館を訪れ、開館から閉館までの間、一点の作品をビデオカメラで撮り続けた、美術作品を映画化した作品です。上映会場の前ではポップコーンが販売され、来場者はポップコーンを片手に映画を楽しむことができます。また、長期インスタレーションルームには、上映中の映画やこれから上映される、あるいはこれまで上映された映画のポスターと上映スケジュールが展示されています。

ー『突然の子供』（金沢 21 世紀美術館, 2017 年）展示解説より

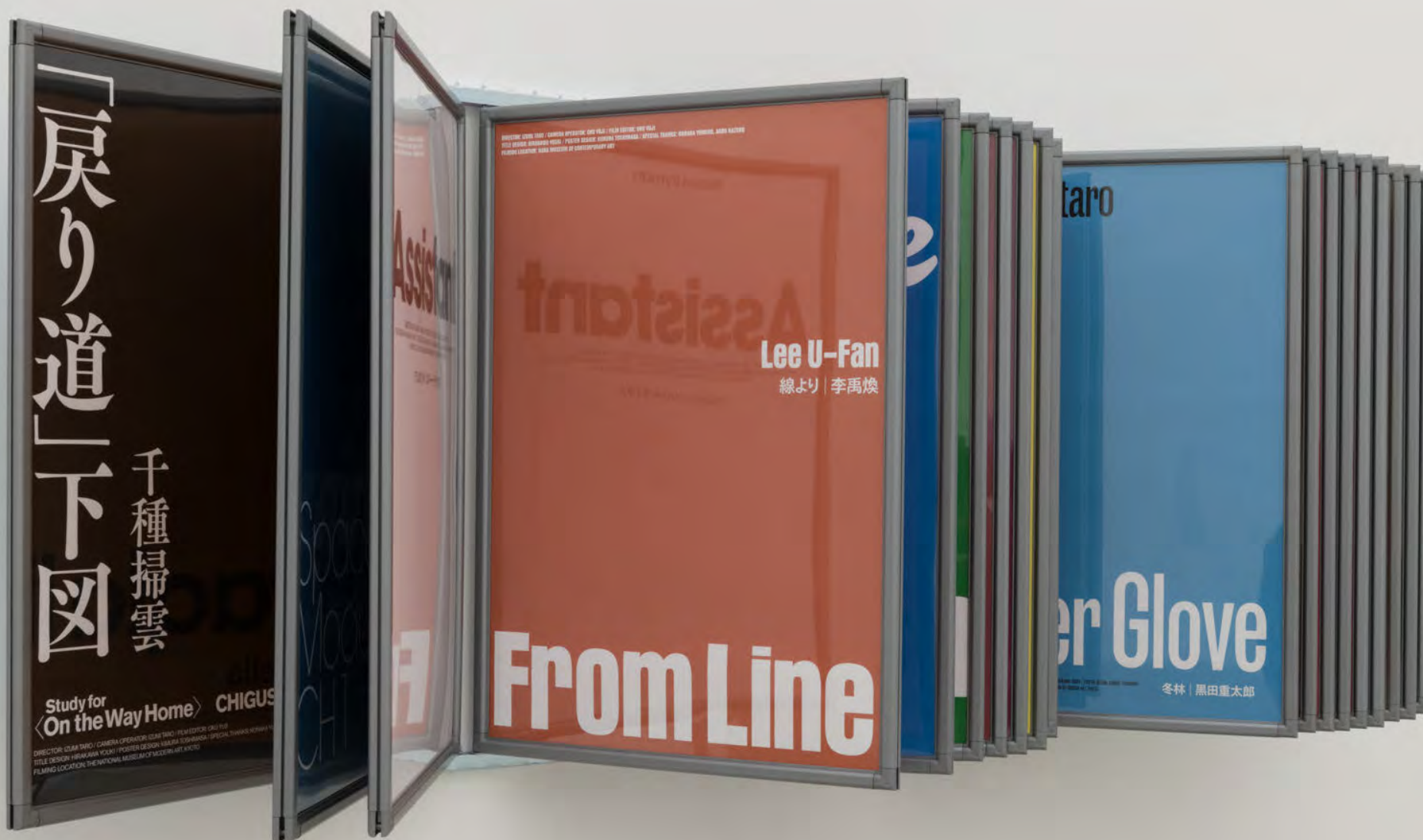
展示履歴

「突然の子供」

金沢 21 世紀美術館

2017 年 10 月 7 日 - 2018 年 3 月 25 日





展示風景 《B:「レンズは虎が通るのをはっきりと捉えていたのだ」》, 2017, 金沢21世紀美術館

TAKE NINAGAWA

Y:「膝を上げよ、そのまま下げよ」 P:「転ばぬよう、
石を片付けておきました」

2017

6 channels videos

総合案内前の6面サイネージにはスニーカーやブーツといった靴の映像が映し出されています。人が履いている靴を撮影し、それをモニターに映し、靴以外の部分をカラーボードで覆い隠した状態を再び動画に収めています。動かない靴の映像は、まるで靴の広告写真のようにも見えます。

ー『突然の子供』（金沢21世紀美術館, 2017年）展示解説より

展示履歴

「突然の子供」

金沢21世紀美術館

2017年10月7日 - 2018年3月25日



TAKE NINAGAWA

古い名前、先客

2018

6 channels videos

「So mean」とは、「いじわる」を意味するスラング英語です。一文字ずつ鉄で作られたアルファベットの型にうなぎが納められ、あるものは逃げようとし、またあるものは安住する様子が6台のモニターに映し出されています。

ー『突然の子供』（金沢21世紀美術館, 2017年）展示解説より

展示履歴

「突然の子供」

金沢21世紀美術館

2017年10月7日 - 2018年3月25日



TAKE NINAGAWA

D:「夜はくしゃみを我慢した瞬間から始まるの？だとしたらお兄さん、長いくしゃみをしていきませんか」

2017

Mixed media video installation, clothes, wig, pair of sandals, hat, and single channel video



女装した人物が夜中の県道沿いで誰かを待っているかのように佇んでいます。

美術作品が美術館の中で来場者を待つことと、道端で名もなき誰かが、同様に誰かを待ち続けることとは何が違うのでしょうか。

—『突然の子供』（金沢 21 世紀美術館 , 2017 年）展示解説より

展示履歴

「突然の子供」

金沢 21 世紀美術館

2017 年 10 月 7 日 - 2018 年 3 月 25 日

TAKE NINAGAWA

頬爪楊枝 / 葡萄の刑

2017

Mixed media, sneakers, fabric, and electrical cord

当館の建物は、建築物を支える柱を極限まで細く、少なくし、その存在を見えなくしようと設計されています。作家はその柱にズボンと靴を履かせ、電源プラグを取り付けました。人間が2本脚で自身を支えているように、最低限の本数と限りなく細い柱は十分に建物を支えることができます。地下と地上の各入り口付近に設置されたデジタルサイネージには、複数の人たちの脚がスローモーションの映像として映し出されています。

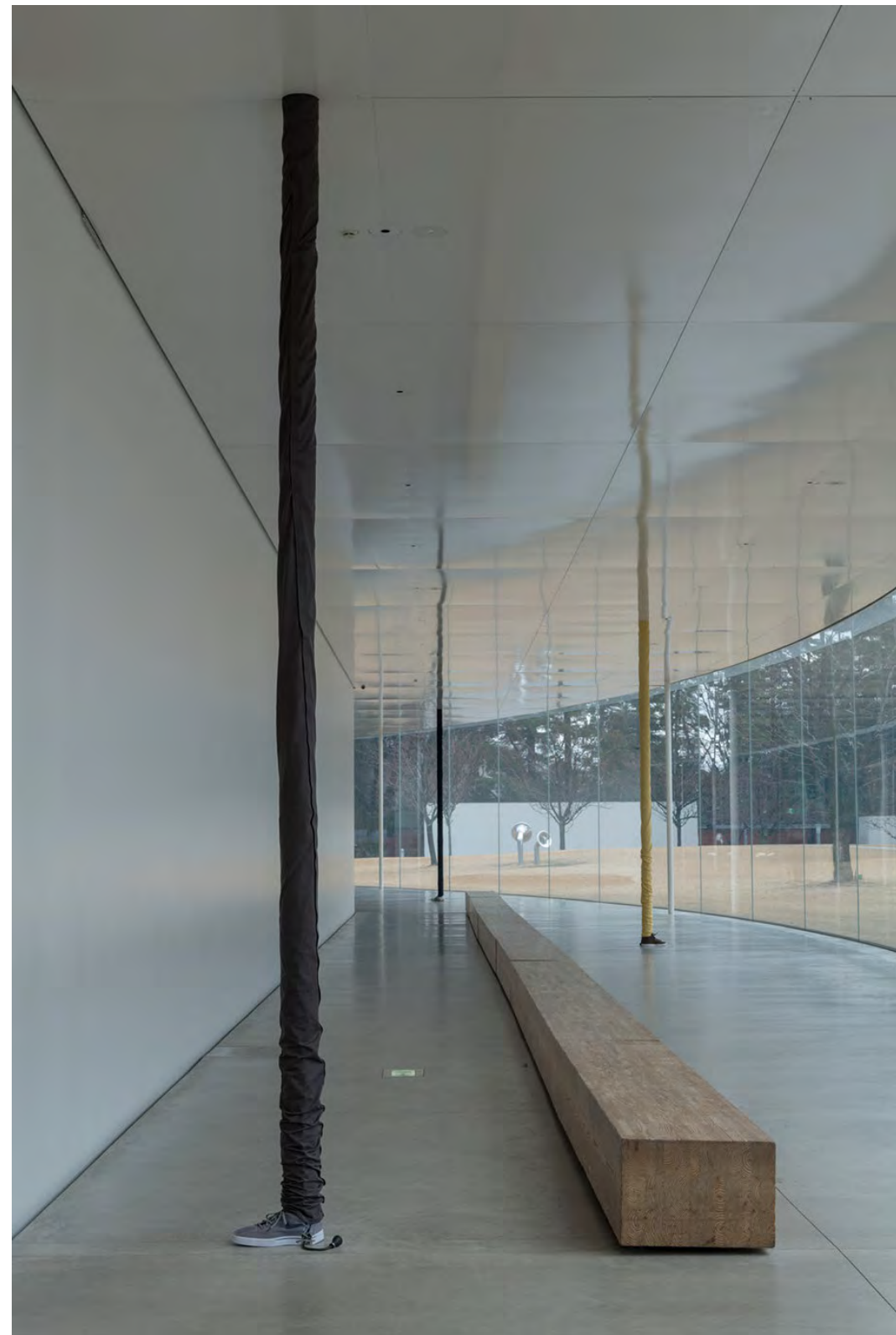
ー『突然の子供』展示解説より

展示履歴

「突然の子供」

金沢 21 世紀美術館

2017 年 10 月 7 日 - 2018 年 3 月 25 日



TAKE NINAGAWA

(鹿) 85 91 92 94 98 100 102 108 110 112 115 116 *
117 * 119+2
2017

Mixed media video installation, videos, suspended t-shirt,
and drying racks

捕らえられて逃げようとするタコの映像が25台のモニターに映されています。いずれの画像も「狩られるタコ」の映像をインターネット上から集め、それを撮影したものです。一方、モニターの上には四方から引っ張られた子供用のTシャツが、引き伸ばされそうな状態で掛けられています。

— 『突然の子供』展示解説より

展示履歴

「突然の子供」

金沢 21 世紀美術館

2017 年 10 月 7 日 - 2018 年 3 月 25 日



TAKE NINAGAWA

ヨット

2018

Mixed media video installation, 3 channel video, and
target



拳（こぶし）に力を溜めながら円形の美術館の中を一周する人物が、最後に力一杯、扉に設置された的（まと）をノックする様子が、オリジナルの的、それを定点で撮り続けた映像、そして拳を映し続けた映像によって構成されています。それらは異なるレイヤー、異なる視点でひとつの出来事を立体的に見せています。

ー『突然の子供』展示解説より

展示履歴

「突然の子供」

金沢 21 世紀美術館

2017 年 10 月 7 日 - 2018 年 3 月 25 日

TAKE NINAGAWA

←連絡

2016 - 2017

Mixed media video installation, 1 sculpture,
2 videos, and a set of 9 photographs

イタリアの家具職人との往復書簡のようなやり取りをして制作された立体、映像、記録写真からなる作品です。泉が作った彫刻から職人が椅子をつくります。その椅子をもた泉が彫刻に戻し、何度も繰り返して最終的にできた椅子と、職人が椅子に戻すために排除した部分が彫刻として展示されます。彫刻を作るという目的と、椅子を作るという目的が二重のタスクとしてネスト化され、最終的にその目的から抜け落ちたモノが作品となります。

展示履歴

「Paradoxa: Japanese Art Today」

Casa Cavazzini, Udine

2016年4月16日 - 8月28日





展示風景《連絡》, 2016, Casa Cavazzini, Udine



展示風景《連絡》, 2016, Casa Cavazzini, Udine



展示風景《連絡》, 2016, Casa Cavazzini, Udine

TAKE NINAGAWA

無題（虹の影が見えない）

2015

Fabric, artificial flowers, wood, photographs, video

展示会場には 300 体の木のコスチュームが森のように並んでいます。撮影時にはそれぞれに人間が入り、森のコスプレを作りました。その中をスーパーマンやめるもちゃん、ライダーマンや半魚人などのキャラクターに扮したコスプレイヤーが徘徊し、カメラマンはこの森の中で彼らを追いかけ回して写真を撮ります。キャラクターは全て演じていた俳優や声優がすでに亡くなっているものたちです。森のコスプレの中をさまよう抜け殻のようなキャラクターをカメラマンが撮影すると、彼らの背後には否応なく木に扮した人々が背景として写り込みます。主役の背後に必ず存在する大多数の風景化した人々の姿が強調され、背景が前面化するかのようなインスタレーションとして展示されます。展示室の一番奥に投影された映像を見るために観客はこの森をさまようこととなりますが、どこに立っても前面化した木々は映像画面に被ることになります。

展示履歴

「われらの時代：ポスト工業化社会の美術」

金沢 21 世紀美術館

2015 年 4 月 25 日 - 8 月 30 日



TAKE NINAGAWA

キャラメル

2015

Mixed media video installation, videos, wooden sculpture with helmet, video camera, and clip light

動物園で撮影された動物の映像には目の部分に穴が空けられ、その裏にモニターを設置し人間の目を映し出すことで映像が合成されています。それぞれの目は、拘束用に作られた椅子に座った人々に作家のパフォーマンスを見せ、目の部分を撮影したものです。たいていのパフォーマンスは退屈なもので、液体をうつしかえる、ラケットを振り回す、ロウソクを持って動く、など様々です。全部で9つのパフォーマンスを9人に見せ、9つの目が動物の目と入れかえられています。

展示履歴

「六本木クロッシング 2013 展：アウト・オブ・ダウト 一来たるべき風景のために」

森美術館

2013年9月21日 - 2014年1月31日



TAKE NINAGAWA

ひさしと団扇

2012

Mixed media video installation, blackboard flooring,
chalk, and video projection

展示室の床が全面黒板になっています。泉は、そこに放したウサギを観察して気付いたことを床に白クレヨンで事細かに記していきます。ウサギには触れず、とにかく表面をしつこく観察することで得られた成果で床が埋め尽くされていきます。

展示履歴

「リアル・ジャパネスク：世界の中の日本現代美術」

国立国際美術館

2012年7月10日 - 9月30日



TAKE NINAGAWA

コルセット（図書館）

2012

Mixed media installation, and video

内側が黒板になっている構造物の中に人物がふたり横たわっています。ひとは構造物の下部分に納められている本の中から一冊選び、句読点までの文章を一文字ずつ平仮名で内側の黒板部分に書きながら腹這いで後ろ向きに進みます。もうひとり一人の人物は、それを追うように文字を一文字ずつ読みながら腹這いで進みます。読んだ後の文字は体にこすられて消えていきます。それを何冊かの本で繰り返しながら構造物の中を何周もします。

展示履歴

「リアル・ジャパネスク：世界の中の日本現代美術」

国立国際美術館

2012年7月10日 - 9月30日



TAKE NINAGAWA

エジプトのカエル、ひき肉、雨

2012

Mixed media video installation, tubes, and video
projection

3メートル50センチの筒が18本縦に重ねられています。両脇には筒一本につきハンドルが一本ずつ付いており、それらを十人以上の人数で同時に回すことで筒を回転させて、一番上からペンキを垂らして撮影されました。筒が回転するためデカルコマニーのような効果が自動的に生まれ、ペンキがどんどん下に伝わっていきます。ハンドルはそれぞれタイミングを合わせて回さないと回転しない上に、筒に付着するペンキの量が増えていくと徐々に回しにくくなっていきます。

展示履歴

「リアル・ジャパネスク：世界の中の日本現代美術」

国立国際美術館

2012年7月10日 - 9月30日



TAKE NINAGAWA

無題

2012

Wooden sculpture, single channel video

彫刻と人間が共に日常生活を送る様子をとらえた作品です。泉が友人に抽象的な形態の立体物をあたかもペットのように世話をするようにと託すところから映像が始まります。彫刻は人間に歯ブラシをしてもらい、朝食を食べさせてもらい、メイクをし、電車へ乗ります。映像には、人間が行う日常的な行為や儀式の一部始終が映し出されます。はじめはその風景が滑稽に思えますが、見続けるうちにこの無機質な彫刻が身体性を帯び、セクシュアリティや社会的アイデンティティをも想起させます。泉の研究の核でもある「映像の触覚」についても言及している作品です。

展示履歴

「リアル・ジャパネスク：世界の中の日本現代美術」

国立国際美術館

2012年7月10日 - 9月30日

